

講座名	キャリア教育	担当者	柴岡 信一郎	単位数 配当年次	1 前期 2 単位
授 業 概 要	本学で学修する入口としての基礎知識を学び、今後のキャリア・デザインに必要な力を身に付け、大学生活や将来設計を考える第一歩とする。				
到 達 目 標	コミュニケーション能力の習得と、就職活動に必要な知識を身に着ける。				
区 分	授 業 内 容				
1	初学① (フレッシュマンウィーク)				
2	初学② (フレッシュマンウィーク)				
3	コミュニケーション 会話①				
4	コミュニケーション 会話②				
5	コミュニケーション スピーチ・プレゼンテーション①				
6	コミュニケーション スピーチ・プレゼンテーション②				
7	コミュニケーション リーダーシップ①				
8	コミュニケーション リーダーシップ②				
9	キャリア設計				
10	自己理解				
11	環境理解				
12	求められる人材像				
13	就職活動①				
14	就職活動②				
15	まとめ				
教 材	書 名：スポーツビジネス教本 2013 著者名：柴岡信一郎 出版社：タイケン 価 格：2,700+税 その他：面接授業時プリント配布				
成 績 評 価	期末試験 (60%)：当概の基礎能力の修得の程度を 60 点満点で評価する。持ち込み不可。 授業内での課題 (40%)：毎回課題を実施し、キャリア能力の理解の程度を評価する (最終的には 40 点満点に換算する)。				

講座名	文章作成・表現法 I	担当者	工藤 美知尋 中村 道広	単位数 配当年次	1 前期 2 単位
授業概要	本講座では、コミュニケーションを意識した文章作成能力の向上を目指す。学生・社会人としての基本的常識を身につけさせ、深い教養とリベラル・アーツを体現することをもって授業目的とする。				
到達目標	生き方、および今日の日本の課題について考えること。				
区分	授業内容				
1	小論文の定義。原稿用紙の使い方。句読点の付け方などを学ぶ。				
2	日本語の文法を学ぶ。作文と小論文の違い。				
3	文体や修辞法を学ぶ。表現技巧を学ぶ。				
4	小論文の書き方。構成。構想などを学ぶ。				
5	危機管理の要諦を論ぜよ。				
6	東日本大震災で日本人の価値観はどのように変化したか論ぜよ。				
7	東日本大震災では「想定外」という事が言われたが、これをどのように考えるか論ぜよ。				
8	再生可能エネルギーの将来について論ぜよ。				
9	権力の腐敗は何故生じるのか論ぜよ。				
10	マックス・ウェーバー著の『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』の関連性について論ぜよ。				
11	第二次世界大戦後、なぜ日本が発展したか論ぜよ。				
12	孤独死を生む日本社会について論ぜよ。				
13	現代人に何故うつ病が多いのか論ぜよ。				
14	戦後日本女性の社会進出進んだ理由について論ぜよ。				
15	あなたが尊敬する政治リーダーを一人とりあげ、その理由を論ぜよ。				
教材	書名：小論文の書き方と模範文例－日本語表現の要点を学ぶ－ 著者名：工藤美知尋 出版社：愛智出版 価格：2,400円＋税 その他：面接授業時プリント配布				
成績評価	期末テスト（70%）：授業内で指摘した注意点に留意して文章作成ができていないか等の評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題（30%）：授業内でのワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				

講座名	文章作成・表現法Ⅱ	担当者	工藤 美知尋 中村 道広	単位数 配当年次	1 後期 2 単位
授業概要	「文章作成・表現法Ⅰ」に引き続いて、毎回1テーマを800字で実際に論述させ、それを添削することによって、実践的な論述力を身につけさせる。				
到達目標	社会人として必要な実践的な文章術を身につけさせる。				
区分	授業内容				
1	権利と義務の関係について論ぜよ。				
2	「ジャパン・ブランド」について論ぜよ。				
3	格差是正はいかにしたらよいか論ぜよ。				
4	戦後の日本人の価値観について論ぜよ。				
5	戦前と戦後の日本人の価値観の違いについて論ぜよ。				
6	安倍首相による「戦後70年談話」について論ぜよ。				
7	世界平和のため日本が貢献できることについて論ぜよ。				
8	戦後の日本人の幸福感を論ぜよ。				
9	イスラム過激派の台頭について論ぜよ。				
10	「パナマ文書」について論ぜよ。				
11	国際社会の不安定要因について論ぜよ。				
12	日本の国益について論ぜよ。				
13	いわゆる「豊洲問題」について論ぜよ。				
14	「トランプ・ショック」について論ぜよ。				
15	無縁社会について論ぜよ。				
教材	書名：小論文の書き方と模範文例—日本語表現の要点を学ぶ— 著者名：工藤美知尋 出版社：愛智出版 価格：2,400円＋税				
成績評価	期末テスト（70%）授業内で指摘した注意点到意して文章作成ができているか等を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題（30%）：授業内でのワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				
関連受講科目	文章作成・表現法Ⅰの履修を前提とします。				

講座名	コンピュータ情報処理 I	担当者	渋井 二三男 岩田 忠久	単位数 配当年次	1 前期 2 単位
授業概要	Word の基本的な操作方法を習得し、かつブラインドタッチを習得する。				
到達目標	ビジネスユースでの Word 機能操作及び活用能力の育成。				
区分	授 業 内 容				
1	文書の共有				
2	文書の管理				
3	フォントと段落の属性の管理				
4	表の作成				
5	ページのレイアウトの設定				
6	ページ背景の作成・操作				
7	図の挿入				
8	テキストボックスの挿入				
9	スペルチェックや文章校正の内容確認				
10	ハイパーリンクの適用				
11	差し込み印刷の実行				
12	パワーポイント①基本操作				
13	パワーポイント②資料作成				
14	パワーポイント③資料作成				
15	パワーポイント④まとめ				
教 材	書 名 : Word&Excel&PowerPoint のスキルが身につく本 著者名 : 野々山美紀、浜崎央、木下貴博 出版社 : マイナビ出版 価 格 : 1,706 円 + 税				
成績評価	課題提出 (15%) : 各回の講義内で行う課題等を提出することにより、各回 1 点×15 回とする。 レポート (10%) : レポートは 5 点×2 回とする。評価基準は指定した提出様式に則してレポート作成していれば 5 点。則していなければ、そこから減点とする。 小テスト (15%) : 与えられた問題に対し Word を用い、適切な機能を用いて処理を行えるのかを確認する。 試験 (60%) : 与えられた問題に対し Word を用い、適切な機能を用いて処理を行えるのかを確認する。持ち込み不可。				

講座名	メディアリテラシー	担当者	柴岡 信一郎	単位数 配当年次	1 後期 2 単位
授 業 概 要	メディアの情報を読み解き、分析、解析し、活用できるようにするための能力であるメディアリテラシーを学ぶ。その能力開発のために、基本定義、事例を基にして考察する。事例の主な題材は、政治、メディアスポーツ、高校野球、オリンピック、テレビのスポーツ中継等である。				
到 達 目 標	メディア情報の偏りや矛盾、情報操作、イメージ形成、演出を認識し、冷静かつ主体的に意思選択や意思決定を行う力を身に付ける。				
区 分	授 業 内 容				
1	目的と狙い				
2	メディアリテラシーとは				
3	メディアの力を警戒すべき理由				
4	政治的主導権とメディア				
5	メディアに対する政治的批判				
6	マスメディアにおいて有力コンテンツとなったスポーツの変遷①				
7	マスメディアにおいて有力コンテンツとなったスポーツの変遷②				
8	スポーツとメディアの結び付き①				
9	スポーツとメディアの結び付き②				
10	メディアが作り出す高校野球像				
11	テレビの普及とスポーツの大衆化①				
12	テレビの普及とスポーツの大衆化②				
13	スポーツ商業化とメディアスポーツの変遷①				
14	スポーツ商業化とメディアスポーツの変遷②				
15	公教育におけるメディアリテラシー教育				
教 材	書 名：メディア・リテラシー 著者名：柴岡信一郎ほか 出版社：静岡学術出版 価 格：1,000 円＋税				
成 績 評 価	期末テスト（70%）授業内で説明したメディアリテラシーを理解しているか評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題（30%）：授業内でのワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				

講座名	現代社会とコミュニケーション	担当者	相田 晃良 吉澤 智也	単位数 配当年次	1, 2 後期 2 単位
授業概要	グローバル化や情報化の時代と言われる今日、私たちの生活する現代社会は複雑化・多 元化している。人と人の関係もが希薄化するなか、社会の複雑な事象をコミュニケーション から考え理解を深める。				
到達目標	現代社会においてコミュニケーションを成立させる多様な意味を読み取り、分析する術 を身に付ける。				
区分	授 業 内 容				
1	コミュニケーションとは何か				
2	自己と他者の関係性				
3	コミュニケーションとアイデンティティ				
4	対人コミュニケーションと非言語コミュニケーション				
5	コミュニケーションスキル				
6	コミュニケーションを取り巻く環境				
7	文化とコミュニケーション				
8	社会とコミュニケーション				
9	マス・コミュニケーション				
10	メディアの社会的機能と責任				
11	インターネット・SNSとコミュニケーション				
12	異文化コミュニケーション				
13	カルチャーショックと適応過程				
14	文化摩擦と異文化コミュニケーション				
15	まとめ				
教 材	書 名：メディア活用能力とコミュニケーション 著者名：柴岡信一郎編著 出版社：大学図書出版 価 格：2,200 円+税 書 名：コミュニケーション学/その展望と視点 著者名：末田清子/福田浩子 出版社：松柏社 価 格：2,160 円+税				
成績評価	期末テスト (70%) 授業内で説明した現代社会を理解しているか評価する。持ち込み不 可。授業中に提示する複数の課題 (30%)：授業内でグループワーク等への積極的参加と 提出物の完成度における評価。				

講座名	日本文化論	担当者	伊藤 景 瀬尾 邦雄	単位数 配当年次	1, 2 前期 2 単位
授業概要	文化そのものを考え日本の伝統的な文化と現在の文化を捉えながら、文化の社会的役割を国内にとどまらず、国外の観点や独自の観点から見直してみる。				
到達目標	日本の文化について歴史や国内外の視点から日本文化の本質を理解する。身の回りに目を向けることで生活と我々とどのように関わっているのかを客観的に分析・解明していく。				
区分	授 業 内 容				
1	目的と狙い				
2	文化の定義 文化の3つの定義・七五三・日本独特の行事・外国特有の行事				
3	文化と文明の違い 移植が可能か・外国と日本に根付いている文化・文明について①				
4	文化と文明の違い 移植が可能か・外国と日本に根付いている文化・文明について②				
5	文化と文明の違い 移植が可能か・外国と日本に根付いている文化・文明について③				
6	伝播の仕組み 文化はどのように変わって日本や外国に取り入れられているのか①				
7	伝播の仕組み 文化はどのように変わって日本や外国に取り入れられているのか②				
8	カルチャーショック アメリカ・日本・中東との違いや驚き①				
9	カルチャーショック アメリカ・日本・中東との違いや驚き②				
10	文化論のアプローチ 日本独自と思われる伝統的文化(神社・桜・相撲・柔道等)や、西洋文化であったコスプレやハロウィンの関連性①				
11	文化論のアプローチ 日本独自と思われる伝統的文化(神社・桜・相撲・柔道等)や、西洋文化であったコスプレやハロウィンの関連性②				
12	文化としてのメディア①				
13	文化としてのメディア②				
14	文化としてのメディア③				
15	おわりに				
教材	書 名：メディア活用能力とコミュニケーション 著者名：柴岡信一郎 出版社：大学図書出版 価 格：2,200円+税				
成績評価	期末テスト(60%) 授業内で説明した日本文化を理解しているか評価する。持ち込み不可。 授業中に提示する複数の課題(40%)：毎回の小テストと提出物の完成度における評価。				

講座名	英語コミュニケーション I	担当者	杉原 由紀	単位数 配当年次	1, 2 前期 2 単位
授業概要	TOEIC テスト対策用のテキストを用いて TOEIC のスコアアップ、また実用的なコミュニケーション能力の向上を図る。				
到達目標	TOEIC スコア 600 点以上を取得し、英語での日常会話を円滑にこなせるようにする。				
区分	授業内容				
1	英語でのプレゼンテーション (自己紹介)、人物の動作と状態				
2	物の状態と位置、疑問詞を使った疑問文				
3	基本構文と応答の決まり文句、Yes/No 疑問文				
4	品詞、動詞				
5	英語でのディベート、代名詞、関係代名詞				
6	接続詞、前置詞				
7	店での会話、電話での会話				
8	屋外や交通機関での会話、オフィスでの会話				
9	留守番電話、アナウンス				
10	英語でのプレゼンテーション (関心のあるスポーツについて) ラジオ放送、ツアー・トーク・スピーチ				
11	表・用紙、手紙・Eメール				
12	広告、ダブルパッセージ				
13	時制、代名詞、語彙問題				
14	接続詞、これまでの復習				
15	模擬テスト、質疑応答				
教材	書名：TOEIC テスト 書き込みドリル 全パート入門編 著者名：早川 幸治 出版社：桐原書店 価格：1,350 円＋税				
成績評価	期末テスト (60%) 英語コミュニケーション基礎能力の修得を評価する。持ち込み不可。 授業中に提示する複数の課題 (40%)：毎回の英語でのコミュニケーションと提出物の完成度における評価。				

講座名	英語コミュニケーションⅡ	担当者	杉原 由紀	単位数 配当年次	1, 2 後期 2 単位
授業概要	速読とリスニングの訓練による英語コミュニケーション能力を養成する。				
到達目標	英語に慣れ親しみ、英語圏での生活を身近なものとする。また、常に、答えの根拠となるものを明らかにできるようにする。				
区分	授業内容				
1	授業方法とレポート課題に関する説明				
2	The Beginning CD を利用した速読訓練				
3	The Beginning 設問による内容理解、英作文演習				
4	Doctor Frost CD を利用した速読訓練				
5	Doctor Frost 設問による内容理解、英作文演習				
6	Detective Sam Woodward CD を利用した速読訓練				
7	Detective Sam Woodward 設問による内容理解、英作文演習				
8	Tony & Michaelle CD を利用した速読訓練				
9	Tony & Michaelle 設問による内容理解、英作文演習				
10	Emma Simpson CD を利用した速読訓練				
11	Emma Simpson 設問による内容理解、英作文演習				
12	Captain John Lee Monroe CD を利用した速読訓練				
13	Captain John Lee Monroe 設問による内容理解、英作文演習				
14	朗読音声を活用しての総復習				
15	リピートトレーニングを活用しての総復習				
教材	書名： たのしい英文速読教室 著者名： 安河内哲也、ミッキー・エイコーン 出版社：研究社 価格：1,400 円＋税				
成績評価	期末テスト (60%) 英語コミュニケーション応用能力の修得を評価する。持ち込み不可。 授業中に提示する複数の課題 (40%)：毎回の英語でのコミュニケーションと提出物の完成度における評価。				
関連受講科目	英語コミュニケーションⅠの履修を前提とします。				

講座名	政治学 I	担当者	工藤 美知尋	単位数 配当年次	1, 2 前期 2 単位
授業概要	政治学の基本的概念について学習する。日本人として見識ある政治観を養うことをもって目的とする。				
到達目標	テキスト全般について学習・理解する。				
区分	授 業 内 容				
1	政治学の困難性について、他の科学と比較して考える。				
2	権力について、強制と権威という観点から考える。				
3	政治権力				
4	政治的リーダーシップ				
5	ミランダとクレデンダ				
6	今日の政治的無関心				
7	圧力団体が台頭した原因と機能				
8	議会政治の基本原理				
9	文明の衝突				
10	国際政治と国内政治				
11	なぜ日本が開国したのか				
12	明治外交の特徴				
13	日露戦争の開戦外交				
14	第一次世界大戦と日本外交				
15	太平洋戦争の開戦の原因				
教 材	書 名：政治学 I・II 著者名：工藤美知尋 出版社：日本ウェルネススポーツ大学 価 格：2,000 円				
成績評価	期末テスト（70%）政治の理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題（30%）：毎回の小テストと提出物の完成度における評価。				

講座名	政治学Ⅱ	担当者	工藤 美知尋	単位数 配当年次	1, 2 後期 2 単位
授業概要	政治学のⅠに続き、そのⅡとして、テキストに副って近代日本外交について学習する。				
到達目標	幕末維新から太平洋戦争の終結までを概説し、理解する。				
区分	授 業 内 容				
1	なぜ日本は開国せざるを得なかったのか。				
2	明治維新時の日本外交の特徴				
3	日清・日露戦争の原因				
4	日露戦争の戦時外交				
5	日露戦争後の日本外交				
6	第1次世界大戦の原因と日本の戦時外交				
7	第1次世界大戦後の日本外交				
8	昭和の日本外交				
9	太平洋戦争の原因				
10	太平洋戦争の終戦外交				
11	戦後の日本外交の特				
12	日本の領土問題				
13	戦後の日米関係				
14	戦後の日中・日露関係				
15	今日の日本外交の諸問題				
教 材	書 名：政治学Ⅰ・Ⅱ 著者名：工藤美知尋 出版社：日本ウェルネススポーツ大学 価 格：2,000 円				
成績評価	期末テスト (70%) 政治の理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題 (30%)：毎回の小テストと提出物の完成度における評価。				
関連受講科目	政治学Ⅰの履修を前提とします。				

講座名	経営学	担当者	永長 治夫	単位数 配当年次	1, 2 前期 2 単位
授 業 概 要	経済学の基礎を学ぶ。企業経営の実例を通じて企業経営の具体的な運営を学ぶ。				
到 達 目 標	経済学の基礎を学ぶことによって経営の本質を十分理解する。				
区 分	授 業 内 容				
1	経営概論－家計経済、企業経済、経済循環－ミクロ第1章				
2	需要曲線と供給曲線－消費と生産－ミクロ第1章				
3	神の見えざる手－価格のバランス－ミクロ第1章				
4	市場経済の限界－ミクロ第5章				
5	パレート最適性－ミクロ第5章				
6	独占－供給独占、需要独占、自然独占－ミクロ第5章				
7	公共財－ミクロ第5章				
8	不確実性の経済学－ミクロ第6章				
9	レモンの原理、グレシャムの法則－ミクロ第6章				
10	GNPとGDP－マクロ第1章				
11	国民所得－マクロ第2章				
12	企業投資と公共投資－マクロ第2章				
13	国際収支－マクロ第7章				
14	為替と購買力平価－マクロ第7章				
15	保護貿易と通商問題－マクロ第7章				
教 材	書 名：経済学入門 著者名：石橋春男・関谷喜三郎 出版社：大学図書出版 価 格：2,700円＋税				
成 績 評 価	期末テスト（70%）経営学の基礎についての理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題（30%）：毎回の小テストと提出物の完成度における評価。				

講座名	経済学	担当者	永長 治夫	配当年次 単位数	1, 2 後期 2 単位
授 業 概 要	実生活に直結する経済学の基礎を学習する。				
到 達 目 標	社会人になって直面するあらゆる経済的側面を理解する。				
区 分	授 業 内 容				
1	ミクロ経済の基礎				
2	需要と供給の基礎				
3	市場経済の原則				
4	需要曲線				
5	供給曲線				
6	雇用と賃金				
7	マクロ経済学の基礎				
8	国内総生産				
9	デフレとインフレ				
10	貨幣の需要と供給				
11	財政政策				
12	金融政策				
13	新規事業の創生				
14	国際経済				
15	世界貿易				
教 材	書 名：経済学入門 著者名：石橋春男・関谷喜三郎 出版社：大学図書出版 価 格：2,700 円＋税				
成 績 評 価	期末テスト (70%) 経営の理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題 (30%)：毎回の小テストと提出物の完成度における評価。				

講座名	法学 I	担当者	越野 達郎	単位数 配当年次	1, 2 前期 2 単位
授 業 概 要	日本国憲法は、国民生活の基礎、原点である。その憲法の変遷と解釈を生活者の立場から学ぶ。近代憲法の成立から明治憲法、日本国憲法に至る変遷、平和主義、基本的人権、権力分立、地方自治、内閣制度、司法制度について、具体的な事例を示して解説する。日本国憲法を学ぶことで、社会における諸問題について、学生が自ら考察できる力を養うことを目的とする。				
到 達 目 標	憲法の基礎を理解する。				
区 分	授 業 内 容				
1	憲法の基本概念と各国の憲法史：各国の憲法史、日本国憲法の基本概念				
2	日本憲法史：明治憲法と日本国憲法の比較、今日の日本国憲法				
3	平和主義①：前文及び9条の解釈				
4	平和主義②：憲法の立場からの自衛隊、日米安全保障条約、集団的自衛権の諸問題				
5	基本的人権①平等権：平等の意味、法適用平等説、法内容平等説				
6	基本的人権②平等権：実際の判例を通じて、「合理性」の基準				
7	基本的人権③幸福追求権：人格的利益説、一般的自由説及び自己決定権				
8	基本的人権④幸福追求権：13条から導きだされたプライバシーの権利				
9	基本的人権⑤思想・良心の自由：判例を通じて、憲法の保障する思想・良心の自由				
10	基本的人権⑥生存権：プログラム規定説、抽象的権利説、具体的権利説				
11	基本的人権⑦労働に関する権利：27条を基に憲法が保障する労働の範囲、それに関連する法律				
12	統治機構①国会：国会の地位・性格				
13	統治機構②内閣：内閣制度				
14	統治機構③裁判所：裁判所・司法権				
15	統治機構④地方自治：地方自治の範囲・限界・本旨				
教 材	書 名：面白いほど理解できる憲法 第2版 著者名：株式会社 早稲田経営出版部 出版社：早稲田経営出版 価 格：1,000円＋税 ※ポケット六法若しくはデイリー六法又はこれに準ずるものがあるとなお良い。				
成 績 評 価	期末テスト (70%：憲法の基礎についての理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題 (30%)：毎回の小テストと提出物の完成度における評価。				

講座名	法学Ⅱ	担当者	越野 達郎	単位数 配当年次	1, 2 後期 2 単位
授業概要	法学Ⅰでは、我が国の憲法について学んだが、本講座では、我々の日常生活と関わりが深い法令について学び、論考できる知識を身に付ける。ビジネスに必要な民法、契約、企業取引、登記・登録を学ぶ。次に、家庭と法、犯罪、刑罰について学ぶ。また、これらの事柄について、自らの問題として見解を示せるようにする。				
到達目標	日常生活に関わりのある法令について、自らの問題として見解を示せること。				
区分	授業内容				
1	法律を学習するとは：対社会、対象、目的、理想を学習				
2	法律とは：規範、法則、国家、徳、国内法/国際法を学習				
3	法律の体系：発展形、歴史、近代法、体系を学習				
4	裁判：制度、民事法、刑事法、司法権、法との関係を学習				
5	解釈：適用、解釈必要性、裁判上解釈、価値基準、法解釈、法社会を学習				
6	憲法：国家、憲法、立憲主義、日本国憲法、特徴を学習				
7	権力分立：選挙権、国会、衆議院、参議院、議員内閣制、自治体を学習				
8	人権：基本的人権、福祉、平等、自由、権利を学習				
9	犯罪：刑事、犯罪、刑罰、罪刑主義を学習				
10	家族：法律との関係、近代化、夫婦、家族、贈与、相続を学習				
11	契約履行：考え方、契約自由化、契約履行、成立/効力、契約執行を学習				
12	財産：財産、物権、債権、保障、制約、財産権、公共性を学習				
13	賠償：損害、事故、民事責任、刑事責任を学習				
14	賠償：違法行為、過失責任、無過失責任、賠償/保険を学習				
15	総まとめ				
教材	書名：法学入門 第6版補訂版 著者名：末川博 出版社：有斐閣双書 価格：1,500円＋税				
成績評価	期末テスト（70％）憲法の基礎についての理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題（30％）：毎回の小テストと提出物の完成度における評価。				
関連受講科目	法学Ⅰを履修していなくても受講できます。				

講座名	歴史学 I	担当者	和久井 誠一	単位数 配当年次	1, 2 前期 2 単位
授業概要	古代から近代にかけての日本史において、社会人として必要な事柄を学ぶ。				
到達目標	大学卒業後、様々な職業において「歴史」の重要性を認識できる視点を得て、それによりそれぞれの業界や職種での活躍に寄与することを目的とする。				
区分	授業内容				
1	授業の内容、進め方等についてのガイダンス				
2	原始の生活と文化、弥生文化と古墳文化				
3	飛鳥朝廷から律令国家、平城京と天平文化				
4	平安初期における政治と文化、貴族政治と国風文化				
5	荘園と武士、院政と平氏の台頭				
6	鎌倉幕府の成立と武士、鎌倉文化の特徴				
7	室町幕府の成立と幕府の衰退と庶民の台頭				
8	戦国大名の登場、織豊政権と桃山文化				
9	幕藩体制の確立、幕藩体制の展開				
10	幕府の衰退と化政文化、開国と幕末				
11	明治新国家の成立、立憲国家の成立と日清戦争				
12	日露戦争と近代産業、近代文化の発展				
13	大正時代の日本、軍部独裁とデモクラシー				
14	アジア・太平洋戦争、占領と改革				
15	現代の社会				
教材	歴史学資料集 (和久井誠一)、史料集				
成績評価	期末テスト (70%) 歴史の理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題 (30%) : ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				

講座名	歴史学Ⅱ	担当者	和久井 誠一	単位数 配当年次	1, 2 後期 2 単位
授業概要	近代から現代にかけての世界史において、社会人として必要な事柄、諸国・諸地域の歴史概要を学ぶ。				
到達目標	(1) アメリカや日米関係をめぐる時事問題に関心をよせる (2) 中国社会経済史について基本的な事柄を学ぶ (3) ブリテン諸島の近世・近代史について概観する。				
区分	授業内容				
1	日米関係 黒船から第2次大戦と日本占領				
2	日米関係 戦後史と日米同盟				
3	日本占領と日本国憲法・日米安保条約				
4	朝鮮戦争の時代 冷戦体制と日米関係				
5	中国における中央集権と地方分権				
6	中国の官僚制度				
7	中国における近代産業の発展				
8	宗教改革 宗教改革と宗派对立				
9	名誉革命 名誉革命の影響				
10	産業革命				
11	産業革命と社会の変化				
12	連合王国の成立				
13	第一次世界大戦				
14	第二次世界大戦				
15	現代の国際社会				
教材	史料集 (山川出版社) 等				
成績評価	期末テスト (70%) 歴史の理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題 (30%) : ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				

講座名	現代スポーツ論	担当者	佐伯 年詩雄	単位数 配当年次	1, 2 前期 2 単位
授業概要	現代スポーツに作用する政治、経済、文化、メディアの影響を構造的に学習する。				
到達目標	現代スポーツの総体的な仕組み、その変動とダイナミズムを理解するとともに、現代スポーツの諸問題を分析する。				
区分	授業内容				
1	現代スポーツの状況と課題①				
2	現代スポーツの状況と課題②				
3	崩壊するオリンピック神話				
4	サッカーの社会学～ヨーロッパの観客は、なぜ暴徒になるのか～				
5	遊びを失った子供のスポーツ、スポーツにみる女性の時代				
6	Jリーグがめざす本当のプロとは、スポーツ文化とスポーツの国際化				
7	見せ物としてのスポーツ～試論～				
8	中間整理：スポーツへの新しいまなざし				
9	国際化時代のスポーツ～グローバル化の光と影～				
10	現代スポーツを鳥瞰する				
11	スポーツ社会学が描く近代スポーツ				
12	現代社会と痩身症候群				
13	スポーツ～性的ヘゲモニーとジェンダー～				
14	メディアスポーツ論序説～メディアスポーツの構造と機能～				
15	まとめ：スポーツの現代化とその課題を考える				
教材	書名：現代スポーツを読む～スポーツ考現学の試み～ 著者名：佐伯年詩雄 出版社：世界思想社 価格：2,200円＋税				
成績評価	期末テスト（70％）現代スポーツの仕組み等の理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題（30％）：ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				

講座名	生涯スポーツ論概論	担当者	松本 眞一 堀松 英紀	単位数 配当年次	1, 2 前期 2 単位
授業概要	現代社会における生涯スポーツの概念と意義・重要性を学習する。				
到達目標	多様化するライフステージに対応する。スポーツの開発とそれを育む環境や条件をコーディネートすることの重要性と方策を理解させる。				
区分	授業内容				
1	生涯スポーツの歴史と定義				
2	生涯スポーツ文化と方向性				
3	世界の生涯スポーツ政策の取組①				
4	世界の生涯スポーツ政策の取組②				
5	日本における生涯スポーツ振興の現状				
6	日本における生涯スポーツ政策の変遷				
7	地域社会と生涯スポーツイベント				
8	生涯スポーツとヘルスプロモーション				
9	スポーツ・ボランティアと生涯スポーツ				
10	青少年のスポーツ参加				
11	高齢者のスポーツ参加				
12	障害者のスポーツ参加				
13	生涯スポーツとニュースポーツ				
14	生涯スポーツ指導者資格				
15	生涯スポーツプロモーション				
教材	書名：生涯スポーツ実践論 改訂3版 著者名：川西正志・野川春夫 出版社：市村出版 価格：2,800円＋税				
成績評価	期末テスト（70％）生涯スポーツの理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題（30％）：ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				

講座名	コミュニティスポーツ論 概論	担当者	山道 信之	単 位 数	配 当 年 次	1, 2 後期 2 単位
授 業 概 要	はじめに、地域社会におけるスポーツの意義と、日本における地域スポーツの歴史及び展開の歴史社会的背景を考え、日本スポーツの文化的成熟について概説する。					
到 達 目 標	コミュニティスポーツへと発展してきた歴史社会的背景と、日本のスポーツ文化の形成と成熟について理解し、現代社会における地域生活の諸課題とコミュニティスポーツによる地域社会への貢献可能性について学ぶ。					
区 分	授 業 内 容					
1	コミュニティスポーツ論の概要					
2	コミュニティと地域社会を考える					
3	スポーツとコミュニティ形成					
4	地域スポーツ振興の展開 ①社会体育					
5	地域スポーツ振興の展開 ②第一期コミュニティスポーツ					
6	地域スポーツ振興の展開 ③みんなのスポーツ					
7	地域スポーツ振興の展開 ④生涯スポーツ					
8	現代社会における地域生活の諸課題					
9	コミュニティスポーツと地域社会①地域の自治・自立とスポーツ					
10	コミュニティスポーツと地域社会②総合型スポーツクラブの可能性					
11	コミュニティスポーツと地域社会③スポーツイベントと地域活性化					
12	コミュニティスポーツと地域社会の形成④スポーツ基本計画					
13	コミュニティスポーツ振興策の事例研究					
14	コミュニティスポーツクラブの事例研究					
15	まとめ					
教 材	書 名：スポーツプロモーション論 著者名：佐伯年詩雄監修、菊幸一・仲澤眞編集 出版社：明和出版 価 格：2,200 円+税					
	書 名：スポーツ・コモンズ—総合型地域スポーツクラブの近未来像 著者名：黒須充、水上博編 出版社：創文企画 価 格：1,800 円+税					
	その他：面接授業時プリント配布					
成 績 評 価	期末テスト (70%) 地域スポーツの理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題 (30%)：ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。					

講座名	スポーツ行政論	担当者	松本 眞一 堀松 英紀	単位数 配当年次	1, 2 前期 2 単位
授業概要	スポーツ行政のねらいと目的について学習する。				
到達目標	自分の居住地域のスポーツ環境の現状と課題を把握し対策を考える。				
区分	授 業 内 容				
1	学びの構成について				
2	スポーツ行政の概念（行政とは、スポーツとは）				
3	スポーツ行政のねらいと目的				
4	スポーツと法について				
5	スポーツ行政と基本法				
6	スポーツ行政の領域と役割				
7	民間スポーツ団体の役割				
8	我が国のスポーツプロモーション				
9	国のスポーツ振興方策の経緯（施策）				
10	国のスポーツ振興方策の経緯（指導者）				
11	スポーツ基本法のあらまし				
12	スポーツ基本計画（現状）				
13	スポーツ基本計画（今後の課題）				
14	国の行政施策の動向（厚生労働省）				
15	まとめ				
教 材	書 名：スポーツ行政論 著者名：佐藤鐵太郎 出版社：日本ウェルネススポーツ大学 価 格：2,000 円 その他：面接授業時プリント配布				
成績評価	期末テスト（70％）スポーツ行政の理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題（30％）：毎回の小テストと提出物の完成度における評価。				

講座名	ヘルスプロモーション論概論	担当者	大津 一義 菌部 正人	単位数 配当年次	1, 2後期 2単位
授業概要	ヘルスプロモーションの理念である QOL を高めるには、主体づくりとしての健康教育とその円滑化のための環境づくりが必要であることを理解した上で、健康教育に着目して、国民健康づくりにおける今日的意義と役割について考究する。				
到達目標	ヘルスプロモーションの理念と戦略、中でも健康教育について、国民健康づくりにおける今日的意義と役割について理解する。				
区分	授業内容				
1	社会変化と健康課題 (生活習慣病の予防と対策)				
2	第1次・2次国民健康づくり対策 (生涯保健、適切な生活習慣づくり)				
3	第3次健康日本2 1-ヘルスプロモーションの理念、戦略の導入				
4	第2次健康日本2 1 (人材育成など)				
5	ヘルスプロモーションの理念、戦略 (健康教育と環境づくり)				
6	ヘルシー・シティーの台頭				
7	ヘルシー・シティーの展開 (我が国における町づくり)				
8	ヘルスプロモーティングスクールの台頭				
9	ヘルスプロモーティングスクールの展開				
10	学校健康教育へのライフスキル教育の導入 (意義、種類、基本的学習過程)				
11	学校健康教育へのライフスキル教育の展開 (ライフスキルの種類など)				
12	健康教育専門家の養成と研修 1 (日本)				
13	健康教育専門家の養成と研修 2 (米国など)				
14	ヘルスプロモーションの計画づくりと健康教育 1 (PP モデル)				
15	ヘルスプロモーションの計画づくりと健康教育 2 (行動変容論)				
教材	書名：ヘルスプロモーション論概論 著者名：大津一義編著、出版社：日本ウェルネススポーツ大学 価格：2,000 円				
成績評価	期末テスト (70%) ヘルスプロモーションの理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題 (30%)：ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				
取得可能な資格	実践健康教育士				

講座名	フィットネスプロモーション論概論	担当者	菌部 正人 細野 真	単位数 配当年次	1, 2, 3前期 2単位
授業概要	スポーツにおける発育発達・健康支援、ヘルスプロモーションの考え方、スポーツ活動中の安全管理などをテーマに説明する。				
到達目標	健康的な生活習慣を理解し、将来直面する加齢に伴う体力の低下と健康度の悪化を予防するために運動を通じた健康的な日常生活を営めるようになる。				
区分	授 業 内 容				
1	青少年期（小学生）のための運動方法				
2	青少年期（中・高校生）のための運動方法				
3	中高年期における運動方法（ストレッチ）				
4	中高年期における運動方法（有酸素運動）				
5	中高年期における運動方法（筋力トレーニング）				
6	中高年期における運動方法（集団運動）				
7	健康保持・増進のための運動プログラム（メタボリックシンドローム等）				
8	健康保持・増進のための運動プログラム（循環器疾患）				
9	健康保持・増進のための運動プログラム（呼吸器疾患）				
10	健康保持・増進のための運動プログラム（肥満のリバウンド予防）				
11	健康保持・増進のための運動プログラム（骨粗鬆症、転倒予防）				
12	健康保持・増進のための運動プログラム（快眠）				
13	健康運動プログラムの作成と注意事項（ACSMにおけるガイドライン）				
14	健康運動プログラムの作成と注意事項（運動プログラム作成と健康実践）				
15	健康運動プログラムの作成と注意事項（熱中症予防）				
教 材	書 名：運動処方指針 運動負荷試験と運動プログラム 原書第8版 著者名：日本体力医学会体力科学編集委員会 出版社：南江堂 価 格：3,500円＋税				
成績評価	期末テスト（70%）健康保持・増進の理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題（30%）：ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				

講座名	ライフスタイル論概論	担当者	角田 弘子 菱沼 篤志	単位数 配当年次	1, 2 後期 2 単位
授業概要	ライフスタイルの概念と現代社会におけるその意義を個人と社会の両面から概説する。				
到達目標	ライフスタイルに見られる社会文化的格差を取り上げ、その向上と開発に必要な社会環境のコーディネーションを考察する。				
区分	授業内容				
1	ライフスタイルの概念と現代社会におけるその意義				角田
2	社会関係資本 (ソーシャル・キャピタル) とは何か 一人間関係によって変わる社会関係資本				角田
3	社会関係資本とは何か—歴史や文化も社会関係資本に影響を与える				角田
4	社会関係資本は何の役に立つのか—経済活動への影響・地域社会の安定				角田
5	社会関係資本は何の役に立つのか —健康・教育水準への影響・政府の効率				角田
6	社会関係資本とライフサイクル				角田
7	前期授業のまとめ				角田
8	調査から読み取る—生活価値観				角田
9	調査から読み取る—経済的価値観				角田
10	調査から読み取る—文化社会的価値観				角田
11	調査から読み取る—日本人のライフスタイルと健康				菱沼
12	ライフスタイルと生活習慣病				菱沼
13	ライフスタイルと健康と福祉の向上 I				菱沼
14	ライフスタイルと健康と福祉の向上 II				菱沼
15	豊かなライフスタイルを育むために				菱沼
教材	書名：命の格差は止められるか 著者名：イチロー・カワチ 出版社：小学館 101 新書 価格：720 円+税 その他：面接授業時プリント配布				
成績評価	期末テスト (70%) ライフスタイルの概念とその意義について理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題 (30%) : ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				
関連受講科目	ライフスタイルとヘルス論特講、ライフスタイルとフィットネス論特講				

講座名	トップスポーツ論概論	担当者		単位数 配当年次	1, 2 前期 2 単位
授 業 概 要	現代スポーツの全体的構図、トップスポーツの全体構成を全体構成及び現代社会における文化的意味等を学習する。				
到 達 目 標	スポーツパフォーマンスの生産がシステムとして機能していることの重要性を理解する。				
区 分	授 業 内 容				
1	現代スポーツの全体的構図				
2	現代スポーツにおけるトップスポーツの位置と意味				
3	トップスポーツの全体構成、現代社会における文化的意味				
4	技術の高揚と社会的価値の高まり				
5	社会的価値の高揚と優秀性の移転				
6	スポーツパフォーマンスの生産①競技者				
7	スポーツパフォーマンスの生産②人材養成				
8	スポーツパフォーマンスの生産③指導者制度				
9	スポーツパフォーマンスの生産④施設、用具				
10	スポーツパフォーマンスの生産⑤支援者				
11	スポーツパフォーマンスの生産⑥組織、チーム				
12	スポーツパフォーマンスの生産⑦環境				
13	トップスポーツの事例①プロスポーツ				
14	トップスポーツの事例②大学スポーツ				
15	トップスポーツのシステム構築のあり方				
教 材	授業時プリント配布				
成 績 評 価	期末テスト（70%）トップスポーツの理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題（30%）：ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				

講座名	障害者スポーツ論概論	担当者	江口 秀幸	単位数 配当年次	1, 2 前期 2 単位
授業概要	障害者スポーツの概要と基礎を学ぶ。				
到達目標	障害者スポーツの基本的な考えを理解すると共に公認初級障害者スポーツ指導員の資格取得を目指す。				
区分	授業内容				
1	障害者福祉施策と障害者スポーツ①				
2	障害者福祉施策と障害者スポーツ②				
3	ボランティア論				
4	障害者スポーツの意義と理念				
5	安全管理				
6	障害の理解とスポーツ（肢体不自由者とスポーツ・レクリエーション） （視覚障害者とスポーツ・レクリエーション）				
7	障害の理解とスポーツ（聴覚障害者とスポーツ・レクリエーション）				
8	障害の理解とスポーツ（内部障害者とスポーツ・レクリエーション）				
9	障害の理解とスポーツ（知的障害者とスポーツ・レクリエーション） （精神障害者とスポーツ・レクリエーション）				
10	（公財）日本障がい者スポーツ協会公認指導者スポーツ指導者制度				
11	全国障害者スポーツ大会の概要				
12	障害に応じたスポーツの工夫・実施①				
13	障害に応じたスポーツの工夫・実施②				
14	障害者との交流①				
15	障害者との交流②				
教材	書名：障害者スポーツ指導者教本（初級・中級） 著者名：（公財）日本障がい者スポーツ協会編 出版社：ぎょうせい 価格：2,400円+税 その他：（公財）日本障がい者スポーツ協会ホームページ等				
成績評価	期末テスト（70%）障害者スポーツの理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題（30%）：ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				
関連受講科目	障害者スポーツ論Ⅰ、障害者スポーツ論Ⅱの履修予定者は、障害者スポーツ論概論と障害者スポーツのマネジメントを必ず履修して下さい。				
取得可能な資格	（公財）日本障がい者スポーツ協会公認 初級障がい者スポーツ指導員				

講座名	スポーツジャーナリズム論 概論	担当者	大和田 守	単位数 配当年次	1, 2 後期 2 単位
授業概要	スポーツジャーナリズムの展開状況を競技ごとに歴史的に取り上げる。次いで、新聞におけるスポーツの報道と批評に焦点を当てて、その成立と展開過程を分析し、説明する。特に、わが国におけるスポーツジャーナリズムの成立とスター競技者の構築、メディアの発達について説明する。さらに、こうしたスポーツジャーナリズムにおける言説と社会的状況との関係を取り上げ、その変容の特徴を分析し、講義する。				
到達目標	スポーツジャーナリズムにおける言説と社会的状況との関係を理解する。				
区分	授業内容				
1	ジャーナリズムの全体像 歴史 (1)				
2	ジャーナリズムの全体像 歴史 (2)				
3	ジャーナリズムの全体像 新聞、ラジオ、テレビ、インターネット他 (1)				
4	ジャーナリズムの全体像 新聞、ラジオ、テレビ、インターネット他 (2)				
5	ジャーナリズムの全体像 政治、経済 (1)				
6	ジャーナリズムの全体像 政治、経済 (2)				
7	ジャーナリズムの全体像 文化、芸能 (1)				
8	ジャーナリズムの全体像 文化、芸能 (2)				
9	スポーツジャーナリズム 歴史と時代背景 (1)				
10	スポーツジャーナリズム 歴史と時代背景 (2)				
11	スポーツジャーナリズム 読み手と作り手の関係				
12	スポーツジャーナリズム ストーリー (物語) の構築				
13	スポーツジャーナリズム 人権				
14	スポーツジャーナリズム 倫理とルール				
15	スポーツジャーナリズム 取材、取材受けの事例				
教材	随時プリントを配布				
成績評価	期末テスト (70%) ジャーナリズムの理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題 (30%) : ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				

講座名	健康科学概論	担当者	大津 一義 石田 良恵 近藤 卓 菌部 正人	単位数 配当年次	1, 2 通年 4 単位
授 業 概 要	健康を科学的に究明するための概論として、健康づくりと体力・運動との関わりについて学ぶ。具体的には健康の概念、健康づくりの必要性・戦略及び施策・計画づくりや、健康と体力・運動との関係について、運動と加齢（特に高齢者）、効用と弊害・生活習慣病・運動実践の継続・習慣づけのための理論を学び、現場でも役立つ、ライフステージに対応した指導力を培う				
到 達 目 標	健康をとりまく新しい変化とその対応策の概要について、運動による健康づくりを中心に理解を深める。				
区 分	授 業 内 容				
1	オリエンテーション；授業のねらい・内容・方法・評価の仕方等				大津、近藤
2	健康科学とは一定義、理念・目的、歴史等①				大津、近藤
3	健康科学とは一定義、理念・目的、歴史等②				大津、近藤
4	健康科学的アプローチの今日的意義—健康をとりまく新しい変化等①				大津、近藤
5	健康科学的アプローチの今日的意義—健康をとりまく新しい変化等②				大津、近藤
6	我が国の健康づくり施策の概要—①背景要因と動向				大津、近藤
7	我が国の健康づくり施策の概要—②「健康日本 21」				大津、近藤
8	我が国の健康づくり施策の概要—③生涯保健の視点から				大津、近藤
9	我が国の健康づくり施策の概要—④生涯保健の視点から				大津、近藤
10	我が国の健康づくり施策の概要—⑤適切な生活習慣づくりの視点から				大津、近藤
11	我が国の健康づくり施策の概要—⑥適切な生活習慣づくりの視点から				大津、近藤
12	健康づくりのための計画づくり—主体づくりと環境づくり①				大津、近藤
13	健康づくりのための計画づくり—主体づくりと環境づくり②				大津、近藤
14	健康づくりのための戦略—①ハイリスク戦略				大津、近藤
15	健康づくりのための戦略—②ポピュレーション戦略等				大津、近藤
16	健康づくりと体力・運動—健康と運動の関係①				石田、菌部
17	健康づくりと体力・運動—健康と運動の関係②				石田、菌部
18	健康づくりと体力・運動—運動と加齢①				石田、菌部
19	健康づくりと体力・運動—運動と加齢②				石田、菌部
20	健康づくりと体力・運動—高齢者の現状と体力の関係①				石田、菌部
21	健康づくりと体力・運動—高齢者の現状と体力の関係②				石田、菌部
22	健康づくりと体力・運動—運動の効用と弊害①				石田、菌部
23	健康づくりと体力・運動—運動の効用と弊害②				石田、菌部
24	健康づくりと体力・運動—生活習慣病				石田、菌部
25	健康づくりと体力・運動—身体活動量				石田、菌部
26	健康づくりと体力・運動—骨粗鬆症と減量、女性ホルモン				石田、菌部
27	健康づくりと体力・運動—筋量の関係				石田、菌部
28	健康づくりと体力・運動—筋力低下、虚弱高齢者への運動指導①				石田、菌部
29	健康づくりと体力・運動—筋力低下、虚弱高齢者への運動指導②				石田、菌部
30	まとめ これからの健康科学の課題				石田、菌部
教 材	書 名：ヘルスプロモーション論 著者名：大津一義編著 出版社：日本ウェルネススポーツ大学 価 格：2,000 円				

	書名：健康・運動の科学 著者名：田口貞善監修 出版社：講談社 価格：2,200円＋税 その他：面接授業時プリント配布
成績評価	期末テスト（70％）健康づくりの理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題（30％）：ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。
関連受講科目	健康スポーツシステム論Ⅰ、ヘルスポモーション論概論
取得可能な資格	実践健康教育士

講座名	野外スポーツ運営論	担当者	伊藤 剛之	単位数 配当年次	1, 2 前期 2 単位
授業概要	キャンプをスポーツ活動及び教育を目的に行われる組織活動の一環として捉え、キャンプの理論や安全管理、カウンセリングとして学ぶ。				
到達目標	倫理観の確立、感性や好奇心・創造性・自主性・判断力・協調性の醸成等、キャンプ及び運営の基礎を築く。				
区分	授業内容				
1	野外スポーツとは				
2	野外スポーツ運営とは				
3	キャンプの特性				
4	キャンプの対象				
5	キャンプの指導①				
6	キャンプの指導②				
7	キャンプの安全①				
8	キャンプの安全②				
9	キャンプの生活技術①				
10	キャンプの生活技術②				
11	キャンプにおけるさまざまなアクティビティ①				
12	キャンプにおけるさまざまなアクティビティ②				
13	キャンプにおけるさまざまなアクティビティ③				
14	キャンプにおけるさまざまなアクティビティ④				
15	野外スポーツ運営論 まとめ				
教材	面接授業時プリント配布				
成績評価	期末テスト (50%) キャンプの理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題 (50%) : キャンプ体験における評価。				

講座名	健康スポーツシステム論 I	担当者	大津 一義 近藤 卓	単位数 配当年次	1, 2 通年 4 単位
授業概要	生涯スポーツ、学校体育、学校保健、レクリエーション等、様々な現場で必要となる理論と技術を学ぶ。健康の概念、健康づくり施策、健康教育、生活習慣病の予防、喫煙、食生活と運動、メディカルチェック、生きがい感、について理解する。最終的には運動指導者として、健康づくりを目的とした運動プログラムを作成する実践的な能力を習得する。				
到達目標	健康と運動との協働システムづくりに不可欠な理論と技術を習得する。				
区分	授業内容				
1	オリエンテーション (授業の進め方) -ねらい・内容・方法・評価等				
2	健康概念 ; アクティブヘルス、資源・手段説、疾病予防の3段階説など①				
3	健康概念 ; アクティブヘルス、資源・手段説、疾病予防の3段階説など②				
4	健康づくり施策ヘルスプロモーションの理念・戦略・展開①				
5	健康づくり施策ヘルスプロモーションの理念・戦略・展開②				
6	健康づくり施策様々な場 (セッティング) との連携システムづくり①				
7	健康づくり施策様々な場 (セッティング) との連携システムづくり②				
8	健康づくり施策国民健康づくり運動の推移・概要①				
9	健康づくり施策国民健康づくり運動の推移・概要②				
10	健康づくり計画 ; プリシード・プロシードモデルによる企画・実施・評価①				
11	健康づくり計画 ; プリシード・プロシードモデルによる企画・実施・評価②				
12	健康の評価、評価の意義・必要性、方法①				
13	健康の評価、評価の意義・必要性、方法②				
14	健康の評価健康指標、メディカルチェック、生きがい感 (QOL) 等①				
15	健康の評価健康指標、メディカルチェック、生きがい感 (QOL) 等②				
16	生活習慣病の予防 生活習慣病とは、リスクファクター因子とその防止①				
17	生活習慣病の予防 生活習慣病とは、リスクファクター因子とその防止②				
18	生活習慣病予防プログラムの企画・実施・評価の観点①				
19	生活習慣病予防プログラムの企画・実施・評価の観点②				
20	生活習慣病の予防の実際 (食生活) の改善①				
21	生活習慣病の予防の実際 (食生活) の改善②				
22	生活習慣病の予防の実際 (肥満) の改善①				
23	生活習慣病の予防の実際 (肥満) の改善②				
24	生活習慣病の予防の実際 (喫煙) の改善①				
25	生活習慣病の予防の実際 (喫煙) の改善②				
26	生活習慣病の予防の実際 (運動) の改善①				
27	生活習慣病の予防の実際 (運動) の改善②				
28	生活習慣病の予防の実際⑦ 生活環境の改善①				
29	生活習慣病の予防の実際⑦ 生活環境の改善②				
30	まとめ 健康と運動・スポーツとの協働システムづくり				
教材	書名 : ヘルスプロモーション論 著者名 : 大津一義編著 出版社 : 日本ウェルネススポーツ大学 価格 : 2,000 円				

	その他：面接授業時プリント配布
成績評価	期末テスト (70%) 運動プログラム基礎の理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題 (30%)：ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。
関連受講科目	健康科学概論、ヘルスプロモーション論概論
取得可能な資格	実践健康教育士

講座名	健康スポーツシステム論Ⅱ	担当者	増満 恵一 細野 真	単位数 配当年次	1, 2, 3 後期 2 単位
授業概要	生涯スポーツ、学校体育、レクリエーション等、様々な現場で必要となる理論と技術を学ぶ。				
到達目標	健康作りのための身体測定と評価を学ぶ。また、有酸素性運動と無酸素性運動の指標、必要性、種類について理解する。				
区分	授 業 内 容				
1	有酸素運動の種類①				増満
2	有酸素運動の種類②				増満
3	無酸素運動の種類①				増満
4	無酸素運動の種類②				増満
5	プログラム作成方法				細野
6	トレーニングの原理と原則				細野
7	全身運動のトレーニングプログラム				細野
8	局所筋運動のトレーニングプログラム①				増満
9	局所筋運動のトレーニングプログラム②				増満
10	局所筋運動のトレーニングプログラム③				増満
11	なぜ体力を評価するのか				細野
12	健康関連体力の測定法とその評価				細野
13	介護予防事業で用いる体力測定法とその評価				細野
14	形態・身体組成の測定と評価				細野
15	総合的健康体力指標の測定と評価				細野
教 材	書 名：健康づくり・介護予防のための体力測定評価法〔第2版〕 著者名：田中喜代次、木塚朝博、大藏倫博（編著） 出版社：金芳堂 価 格：2,600 円＋税 その他：面接授業時プリント配布				
成績評価	期末テスト（70%）運動プログラムの応用への理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題（30%）：ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				

講座名	発育発達・老化論	担当者	田中 智明 山口 智之	単位数 配当年次	1, 2 前期 2 単位
授業概要	幼少期～中高齢期の発育発達老化。各期における運動と健康。				
到達目標	幼少期～中高齢期の発達特性をとらえ、それぞれに見合った健康と運動のありかたを考える。				
区分	授業内容				
1	発達のさまざまな理論 発育・発達・学習とは				田中
2	乳幼児期				山口
3	児童期				山口
4	青年期				田中
5	成人期 (前期)				田中
6	成人期 (後期)				田中
7	高齢期①				田中
8	高齢期②				田中
9	健康と体力				田中
10	現代社会と運動不足・運動と健康 (トレーニングの理論)				田中
11	有酸素的運動と運動処方				田中
12	無酸素的運動と運動処方				田中
13	局所筋運動と運動処方				山口
14	幼児期の運動実践と指導				山口
15	幼児期の運動実践と指導				山口
教材	書 名：幼児体育指導者検定公式テキスト4・5級 著者名：柴岡三千夫 出版社：タイケン出版 価 格：1,500 円＋税				
	書 名：発達と老化の理解 著者名：加藤伸司編集 出版社：ミネルヴァ書房 価 格：2,800 円＋税				
	その他：履修者には補助プリントが配布されます				
成績評価	期末テスト (70%) 幼少期～中高齢期の発達や老化等の理解を評価する。持ち込み不可。 授業中に提示する複数の課題 (30%)：ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				
取得可能な資格	幼児体育指導者4・5級 (公益財団法人日本幼少年体育協会公認)				

講座名	スポーツ栄養学	担当者	鈴木 勝彦	単位数 配当年次	1, 2 前期 2 単位
授業概要	スポーツ・運動における栄養・食事の役割は大きい。五大栄養素を中心とした食品の栄養素はどのように代謝され、効果的に競技力向上に役立つか認識する。体重は摂取したエネルギーと消費のバランスで調節することを理解する。				
到達目標	スポーツ・身体活動における栄養素の働きと望ましい食生活を理解する。				
区分	授 業 内 容				
1	スポーツ・運動と食事がもたらす効果				
2	競技特性と栄養の摂取				
3	スタミナ源である糖質代謝のしくみ				
4	糖質の摂取法と競技力向上				
5	高エネルギー源の脂肪代謝仕組み・摂取法と競技力向上				
6	身体づくりのタンパク質代謝仕組み・摂取法と競技力向上				
7	運動時のビタミン役割				
8	ビタミン摂取法と競技力向上				
9	運動時のミネラルの役割				
10	ミネラル摂取法と競技力向上				
11	運動時の水分の役割				
12	運動時の水分摂取法				
13	エネルギー収支バランスと肥満				
14	ウェイトコントロール (体重調節) は食事とトレーニングから				
15	サプリメントの適切な摂取法				
教材	授業時プリント配布				
成績評価	期末テスト (70%) スポーツにおける栄養・食事の理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題 (30%) : ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				

講座名	運動生理学	担当者	菌部 正人 青山 壮史	単位数 配当年次	1, 2, 3前期 2単位
授業概要	運動中の身体応答や運動が身体に及ぼす影響を生理学的に説明する。				
到達目標	身体運動を理解するために基礎学問としての生理学の重要性を理解し、運動がもたらす身体の変化を理解することを目標とする。				
区分	授 業 内 容				
1	運動生理学とは？（シラバスの確認、授業の進め方、授業方針の説明）				
2	健康（運動不足）と体力について				
3	基礎的な筋肉系について（筋肉の構造、種類等）				
4	運動時に筋肉内でおこるエネルギー供給機構について				
5	運動時の筋肉系について				
6	骨と結合組織について				
7	スポーツ活動中の熱中症・水分補給について（進行状況により変更）				
8	運動時における呼吸機能について				
9	運動時における循環機能について（運動中の心臓の働き）				
10	基礎的な内分泌機能 “ホルモン” について				
11	運動中の内分泌機能 “ホルモン” 変化 について				
12	運動時の排泄機能				
13	運動と免疫能				
14	特殊環境における身体応答（進行状況により変更）				
15	まとめ				
教 材	書 名：身体科学・スポーツ科学テキスト 著者名：嶋谷誠司（編） 出版社：杏林書院 価 格：2,400円＋税 その他：必要に応じて面接授業時プリント配布				
成績評価	期末テスト（70%）：運動生理学の理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題（30%）：ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				

講座名	代表チームのマネジメント 論概論	担当者	畑 満秀	単位数 配当年次	1, 2 前期 2 単位
授業概要	世界大会、中でもナショナルチームの運營業務について考察する。ナショナルチームの運營業務は競技力強化だけでなく、会場の事前視察に始まり、強化体制の整備、選手選考、移動、大会参加手続き、リスクマネジメント等多岐にわたる。競技方法論以外に身に付けるべきものが多い。本講座では、これらの業務を時系列で体系的に理解し、受講生のトップスポーツにおけるマネジメント能力の開発を行う。				
到達目標	トップスポーツにおけるマネジメント能力の開発。				
区分	授 業 内 容				
1	オリンピックの現状と課題				
2	マネジメントとは				
3	マネジメントⅠ（プレイヤーと指導者の望ましい関係）				
4	マネジメントⅡ（ミーティングの方法）				
5	人間関係をつくる工夫				
6	メンタルマネジメントとは				
7	リラクゼーション				
8	集中力のトレーニング①				
9	集中力のトレーニング②				
10	心理的トレーニング				
11	プレッシャー, あがり, スランプの克服				
12	指導者のメンタルトレーニング				
13	オリンピックの運營業務				
14	ドーピング防止				
15	総括				
教 材	授業時プリント配布				
成績評価	期末テスト（70%）チームマネジメントの理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題（30%）：ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				
関連受講科目	トップスポーツコーディネーション論特講Ⅰ、トップスポーツコーディネーション論特講Ⅱ、トップスポーツプロモーション論演習Ⅰ、トップスポーツプロモーション論演習Ⅱ				

講座名	障害者スポーツのマネジメント	担当者	江口 秀幸	単位数 配当年次	1, 2 後期 2 単位
授業概要	障害の理解と障害者スポーツの安全管理・運営およびその対応法を学ぶ。				
到達目標	高齢者・障害者スポーツの実施上の安全な管理・運営法および事故の予防と適切な対応法を理解すると共に、公認中級障害者スポーツ指導員の資格取得を目指す。				
区分	授業内容				
1	わが国の障害者福祉施策の現状				
2	わが国の障害者スポーツ施策				
3	スポーツ傷害・障害の予防と管理				
4	選手団の健康管理				
5	総合型地域スポーツクラブと障害者スポーツ				
6	高齢者とスポーツ				
7	リスクマネジメント (大会・教室・組織など)				
8	事故などのトラブル対処法				
9	救急処置法				
10	スポーツと栄養				
11	肢体不自由の病理とスポーツリスク				
12	視覚障害の病理とスポーツリスク				
13	聴覚障害の病理とスポーツリスク				
14	知的障害の病理とスポーツリスク				
15	まとめ：今後の課題				
教材	書名：障害者スポーツ指導者教本(初級・中級) 著者名：(財) 日本障害者スポーツ協会編 出版社：ぎょうせい 価格：2,400 円＋税				
成績評価	期末テスト (70%) 障害者スポーツのマネジメントの理解を評価する。持ち込み不可。 授業中に提示する複数の課題 (30%)：ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				
関連受講科目	障害者スポーツ論Ⅰ、障害者スポーツ論Ⅱの履修予定者は、障害者スポーツ論概論と障害者スポーツのマネジメントを必ず履修して下さい。				

講座名	スポーツ経営管理論概論	担当者	松本 眞一	単位数 配当年次	1, 2 前期 2 単位
授業概要	人びとのスポーツライフを支えるスポーツ経営管理について、その構造や領域について概説したのち、スポーツ経営管理の進め方を解説する。				
到達目標	スポーツ経営管理の構造と領域を把握し、スポーツ経営管理の進め方の概要を理解する。				
区分	授業内容				
1	スポーツ経営管理の概要				
2	スポーツ経営管理の視点				
3	スポーツ経営管理の概念				
4	スポーツ経営管理の構造				
5	スポーツ経営管理の領域				
6	スポーツ施設と用具の経営管理				
7	スポーツ経営管理の会計				
8	スポーツ経営管理と教育				
9	スポーツ経営管理と法律				
10	レジャースポーツの経営管理				
11	アダプテッドスポーツの経営管理				
12	スポーツ選手のマネジメント				
13	スポーツリーグの経営管理				
14	スポーツ経営管理と情報戦略				
15	スポーツ経営管理と地域活性化				
教材	書名：スポーツビジネス概論 著者名：黒田次郎ほか 出版社：叢文社 価格：2,000 円＋税 その他：面接授業時プリント配布				
成績評価	期末テスト (70%) スポーツ経営の理解を評価する。持ち込み不可。授業中に提示する複数の課題 (30%)：ワークへの積極的参加と提出物の完成度における評価。				